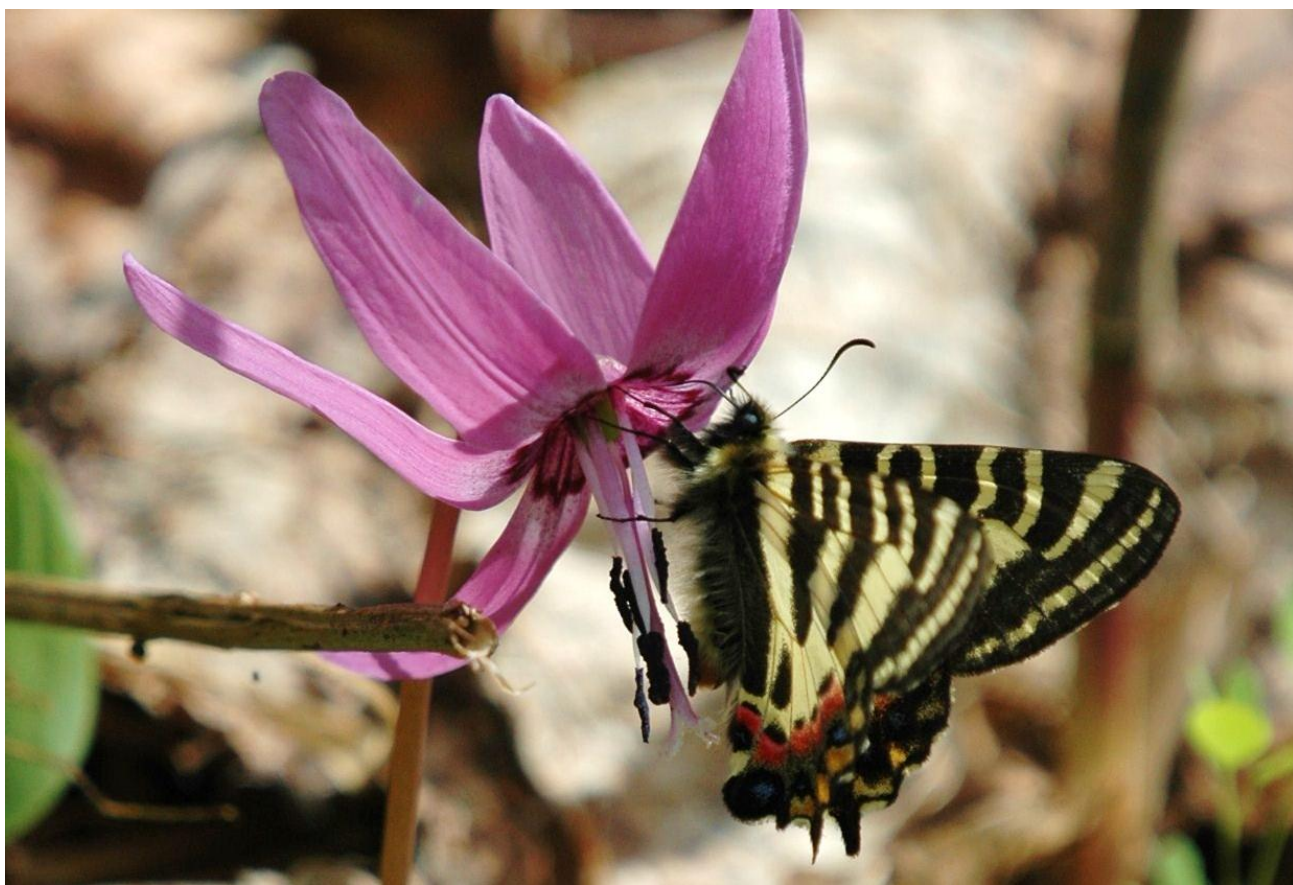


カタクリのビヅタセンター



【カタクリの花で吸蜜するヒメギフチョウ／5月】

ヒメギフチョウ

5月に入ると大雪山麓では、雪に閉ざされていたモノトーンの世界から、日を追うごとに春の気配が感じられるようになります。

そして気温が二桁台となる中旬以降、雪解けあとの草地からエゾエンゴサク、カタクリなどが咲き始め、早春の花を待ちわびていたかのように、ヒメギフチョウが蛹から羽化し、艶やかな早春の色彩を求めて飛び回ります。



【沢沿いに咲くエゾノリュウキンカ】



層雲峡周辺で見られる植物

5月中旬以降、日当たりの良い峡谷斜面では、木々の芽吹きや早春の植物が花を咲かせるようになり、雪解けが遅かった層雲峡にも本格的な春が訪れようとしています。

そこで今回は、早春から初夏にかけて層雲峡周辺で見られる身近な植物を紹介します。層雲峡のなかでも紅葉谷周辺が最も種類が多く、150種以上の植物が観察できます。開花時期は例年5月中旬頃からヒメイチゲ、ニリンソウなどが最も早くから咲き始め、続いてコミヤマカタバミ、ツバメオモト、ミヤマエンレイソウ、ゴゼンタチバナなどが見られるようになります。そしてウコンウツギ、ヤマブキショウマ、モミジカラマツなどが咲く頃には、紅葉谷散策路周辺は花の最盛期を迎えます。花以外にもコース沿いでは、層雲峡を代表する柱状節理や紅葉滝、クマゲラやモモンガなどの痕跡も見られ十分楽しめますので、登山前後に立ち寄り、峡谷に咲く小さな花との出会いを求めて散策してみてもはいかがでしょうか。

子ビターニュース
2011年5月27日(金)
発行/子ビター編集部
開館時間
6月~10月 8:00~17:30
11月~5月 9:00~17:00

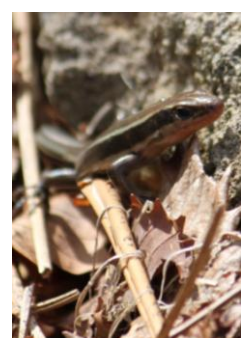
2010年紅葉谷の開花日

* は開花期を示します

月 日 花 名	6月					7月		月 日 花 名	7月					8月							
	5	10	15	20	25	30	5		10	5	10	15	20	25	31	5	10	15	20	25	31
コミヤマカタバミ 5/18	■								ヤマブキショウマ	■	■	■	■	■							
ミヤマエンレイソウ									オニシモツケ												
コヨウラクツツジ									ツルアジサイ 6/26												
ツバメオモト									モミジカラマツ 6/26												
コンロンソウ									クルマユリ												
ムラサキヤシオ									エソクロクモウ												
ウコンウツギ									サライナショウマ												
ミヤマハンショウヅル									コバノイチヤクソウ												
エソルイジソウ									エトリカブト												
クルマバソウ									エゾアジサイ												
コウライテンナンショウ									ミズヒキ												
ゴゼンタチバナ									キツネノボタン												
マイヅルソウ									キツツネ												
ハルカラマツ									ミヤマキノキソウ												
タニギキョウ									ダイモンソウ												

今回の子ビたね

ニホントカゲの「ひなたぼっこ」です



~層雲峡の花~

紅葉谷マップはビジターセンターで配布しています



ツバメオモト ツルリンドウ コミヤマカタバミ コウライテンナンショウ キバナアマナ エゾアジサイ
 エズムラサキツツジ ウコンウツギ ハクセンナズナ ミヤマハンショウヅル エズトリカブト サンカヨウ



ミヤマホオジロ 4月7日

冬鳥ですが、北海道に渡ってくる数は少ないです。ホオジロと同程度の大きさで、頭の冠羽が目立ちます。顔に黒と黄色の模様があり、学名通り「エレガントなホオジロ類」です。鳴き声は「チッ」と、とてもかわいらしく鳴きます。積雪の少ない道北地方や、道外では西日本などで普通に見られるようですが、この周辺ではなかなかお目にかかれませんが、

コハクチョウ 4月14日

オオハクチョウによく似ていますが、大きさは小さめです。嘴に違いがあり、見分けが難しいです。オオハクチョウよりも早く飛来し、数は少なめです。早朝と夕方に田んぼに現れ、落穂を啄んでいます。この時間帯になると、V字の編隊を組みながら上川町にやってきます。

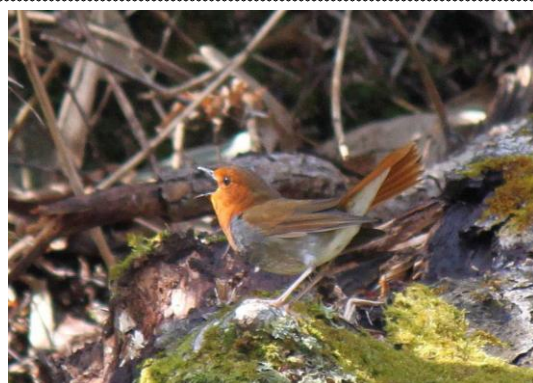


オオジシギ 5月5日

長い嘴の先は軟らかく、ある程度曲げることができます。この嘴を土の中に差し込み、ミミズなどを捕食する他に昆虫類も食べます。鳴き声は、飛び立つときは「ゲッゲッ」、飛びながら「ジッジッ」「ズビヤクズビヤク」その後に「ゴゴゴゴ」という羽音とともに急降下します。この激しい羽音から「雷シギ」とも言われています。

野鳥を代表する歌い手 ～コマドリ～ 5月7日

夏鳥で、スズメぐらいの大きさです。藪の中にいることが多く、なかなか姿は見られません。張りのある声で「ヒン カラー」と単調にさえずります。とにかく美しい鳴き声です。オレンジ色の美しさにも惹かれますが、さえずりをじっくりと観察したい野鳥の一つです。



日本三鳴鳥 ～オオルリ～ 5月10日

コマドリ、ウグイスとともに「オオルリ」の美声は、「三鳴鳥」と言われるくらいです。鳴き声は「ピーリリリリ チリッチリッ」とよく通る美しい声です。

大きさはスズメよりもやや大きい程度で、夏鳥です。沢沿いの森林に生息していますが、繁殖が終わると見る機会が減ってまいります。それにしても鮮やかなルリ色です。



～大雪山の花と生き物～

【日時】7月9日～7月24日

13:30～15:30

折って切って開いたら、あらすテキ♪
子供から大人まで楽しめます。

参加自由・無料/申し込みは不要です



■ 春山トレッキング ～白水川メロンの滝～

【日時】6月5日 9:00～14:00

【内容】層雲峡の隠れ滝白水川メロンの滝を散策

■ 山開き登山 ～ニセイカウシュッペ山～

【日時】7月10日 6:30～16:00

【内容】北大雪の成り立ち、雪潤植物群落を観察

■ 定点観測 ～紅葉谷～

【日時】6月11、25日 7月2、16日

9:30～12:00

【内容】定点地の花の開花状況、分布調査

★★観察会は事前申し込みが必要です★★

★★詳細についてはお問合せください★★

■ 2010大雪山フィールドノート 写真展

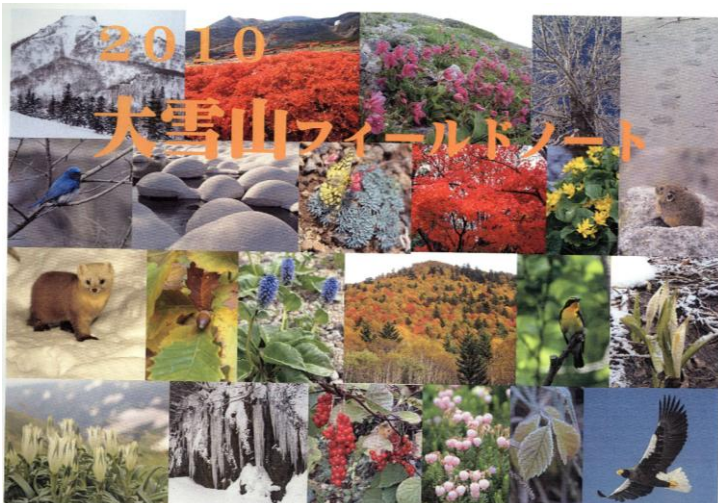
【日時】常時展示

【内容】1年を通じた大雪山の自然を写真と解説
で紹介する。

【場所】ビジターセンターレクチャールーム



- 4/1ベニヒワ(上)、4/3積雪370cm(黒7)、4/5フク
- ジュソウ・オオワシ(上)、4/6ホオジロ・モズ(上)、4/7
- ミヤマホオジロ(上)、4/8カシラダカ・アトリ(上)、4/9
- ヒバリ・ユリカモメ(上)、4/10オオハクチョウ・シメ
- (上)、4/12イカル(上)、4/13コハクチョウ(上)、4/
- 14ヤツガシラ(上)、4/15エゾエンゴサク(上)、4/16
- コチドリ・キビタキ・ザゼンソウ(上)、4/19積雪290cm
- (旭)、4/20ベニマシコ・ノビタキ(上)、4/21ヒメイチ
- ゲ・エゾアカガエル(上)、4/22クマガラ(層)、4/24ウ
- ギス・ミズバショウ(上)、4/26シロガモ(層)、4/27
- アリスイ・オオジシギ(上)、4/29アカハラ(上)、5/2
- 降雪6cm(層)、5/3ルリビタキ・オジロワシ(上)、5/5
- 降雪(層)、5/6コブシ(上)、ギンザンマシコ・エゾナキ
- ウサギ(黒)、5/7ヤブサメ・オオルリ(上)、ヒグマ親子
- (層)、5/9ヒメギフチョウ(上)、5/11カッコウ(上)、ク
- マゲラ(層)、5/15チゴハヤブサ(上)、5/17ツツドリ
- (上)、5/21九十九滝流れる(層)、5/23黒岳5合目
- で降雪、5/24ヤマザクラ満開(上) * 観察地: 上川
- (上)・層雲峡(層)・黒岳(黒)、旭岳(旭)



発行:大雪山国立公園



Tel 01658-9-4400 / fax 01658-9-4401

HP アドレス <http://sounnkyovc.town.kamikawa.hokkaido.jp/>

開館時間 6月～10月/8:00～17:30無休・入館無料

11月～ 5月/9:00～17:00月休(祝祭日翌日)